

生涯学習ガイドに掲載している情報をまず知ってもらうために、そもそも興味を持ってもらうために、講じるべき策を考える

<既存取組みの状況>

- 1 市ホームページへの掲載（ただしPDF形式）
- 2 市内公共施設への配布（閲覧用1部、配布用2部）
- 3 市役所庁内への共有（庁内メールにて）

<講じるべき策>

#	記載者名	どんな人向けに？	どんな策を講じるとよいか？	その理由は？	分類案	
1	関野	ホームページ等にアクセスできない人	市内施設に配付している冊子体の改善。具体的にはかつての「富士見市生涯教育ガイドブック」程度の内容、ボリュームに近付けられないか。	現状のガイドの冊子体を見ても、全体として情報内容が少なく活動内容等を想像しにくい。詳細は該当の組織や担当に問い合わせてくださいとなっていて、どう利用するのかわかりにくい。今さら冊子体の時代ではないことは承知しているが、ガイドブックは富士見市の社会教育活動を一覧できる良さがあったように思う。	内容	改善
2	戸田	全市民	«市ホームページへの掲載» ①事業講座等 ②各公民館・各交流センター・各資料館 ★わかりやすくまとめてある ③団体・サークル一覧等 ★わかりやすくまとめてある ↓ ※何回も開くのが大変なので、もう少し簡単に調べられる工夫が必要	・興味がない人は開けない ・めんどう（不便）	広報手段	改善
3	戸田	全市民	«生涯学習ガイド» 市内公共施設へ閲覧用1部、配布用2部 ★配付用がもう少し欲しい ↓ 多くの市民に手に取ってもらうために ↓ ※公共施設以外に配付しては？ Ex) 各小中高校、保育園、幼稚園、各医療機関（薬局含）、銀行等の金融機関	・少ない ・視覚面 ・手に取る ・発見、気付き	広報手段	拡大

4	戸田	全市民	<p>《広報活動の面から》</p> <p>★広報への掲載・HPはよい</p> <p>↓</p> <p>広く市民の目にとまることが大切</p> <p>↓</p> <p>※駅のロータリー周辺に拡大掲示板もしくは電光掲示板の設置</p>	<p>・視覚面</p> <p>・働き手が見に入れやすい、多くの人が目に入る</p>	ガイド以外？	
5	戸田	全市民	<p>※公共施設の中に拡大掲示板の設置。特にその施設で開催している事業、講座および団体、サークルの活動内容、実施日がすべてわかるような（形式）</p> <p>★現在、机の上にあるチラシも有効であるが、その日に開催しているだけでPR性がないのでは？</p>	<p>・視覚面、発見、気付き</p> <p>・その施設に行っても他の活動が全て分かる、興味関心を持たせる</p>	ガイド以外？	
6	戸田	全市民	<p>※今ある部署の有効活用</p> <p>①福祉課 ②市民課 ③税務課等</p> <p>市民にとって必要と思われるチラシの説明、配布をしてもらっては？</p>	情報提供	ガイド以外？	
7	戸田	全市民	<p>※健康増進センターの有効活用</p> <p>各事業、特に健診等で来訪した際に、その世代に適した情報を積極的にPRしてもらう</p> <p>チラシ等の活用、配布</p>	情報提供	ガイド以外？	
8	戸田	全市民	<p>※出前講座の有効活用</p>	情報提供	ガイド以外？	
9	戸田	育児・親子・青少年向け	<p>※子ども未来応援センターの有効活用</p> <p>対象者に必要と思われるチラシの説明</p>	情報提供	ガイド以外？	

10	秋元	必要とする人	<p>たとえば、3歳児健診の時、親子で楽しむことをテーマにして、例えば、親子リトミック、親子で太鼓、エアロブックス、田んぼ体験…など、ガイドにあることを写真入りで具体的に紹介し、もっといろいろ知りたい人はこちらへとなっていて、2次元コードから生涯学習ガイドにたどり着けるようなチラシがあってもいい。興味のあるところから入って、さらに知りたいと思ったところで生涯学習ガイドにたどり着く。知ってもらえれば、今後、必要な時に使ってもらえる。</p> <p>対象は、3歳児に限らず、小学生を持つ親世代、地域で活動しようとしている人、中高生…いろいろ考えられる。</p> <p>また、周知の方法はチラシとは限らず、既存の公民館だよりの中で「もっと詳しくはこちらへ」と2次元コードをつけて、生涯学習ガイドにたどり着けるようにしてもいい。</p> <p>例えば、公民館だよりで「地域デビューしよう！」というテーマのとき、公民館での活動の紹介の最後に、2次元コードをつけて、生涯学習ガイドにたどり着くと、もっといろいろなものに出会える。というふうに。</p>	<p>たくさんの情報を押し付けるのではなく、必要な時に情報にたどり着ける道を作れたらいいと思います。</p>	広報手段	拡大
11	小栗	全ての人	<p>健康増進センターからのお便りに、社会教育に関する内容のものを入れてもらってはどうか</p>	<p>必ず敵健診の案内が届くので。広報富士見は根強い広報力があるけど、それも「自分から情報を取りに行く」人が多い。なので、こちらからプッシュするにしてもコストが気になる、であれば、どうせ送らないといけないんだから、同梱させてもらえるといいなあと。「健康」くりだと、自分宛に届くものには目を通すと思います。</p>	ガイド以外？	
12	深瀬	読者全員向けに	<p>『生涯学習ガイド』作成者が、 『生涯学習ガイド』で使われている用語を見直す。 例) 「事業・講座」⇒「サロン・講座」</p>	<p>たとえば、目次や見出し、表のタイトルに「事業」「事業名」という用語を使用しているのは行政目線に感じるし、無機質な印象を与えかねない。普通の市民の感覚では、「事業って何？」「事業って仕事でもさせられるの？」と思ってしまう人もいるかもしれない。たとえば、「サロン名」などの用語を使って、人とひとがふれあう印象を与えるよう意図してはどうか。</p>	内容	改善

13	深瀬	読者全員向けに	各事業の主体者が、事業名を見直す。 表の「事業名」欄（項目の先頭の欄）に「子育て支援」が複数ある。施設ごとに「子育て支援」事業を行っているため、このようなことになっているの だろうが、各施設ごとに親しみやすい名前をつけてはどうか。あるいは、複数 ある同名の項目を統合してはどうか。	タイトルが一意になっていないのは紛らわしい ため。 タイトルが「子育て支援」などとなっていると直 截的に感じるため。 同じ項目が複数あるのは無機質に感じるた め。	内容	改善
14	深瀬	読者全員向けに	各事業の行政担当者と参加者が、 各事業がSNSやWebなどを整備する。	事業の取り組みや、活動、交流の様子など を、インターネットを通して発信し、参加者を 募るため。	ガイド以外？	
15	深瀬	読者全員向けに	『生涯学習ガイド』作成者が、 『生涯学習ガイド』に各事業が用意するSNSやWebのURLやQRコードを 掲載する。	現代では、多くの人たちがインターネットを通し て情報収集するため。 記載の「時期」を見計らって、各担当課や施 設の電話で問合せるかたちなのか？電話で 問い合わせるのはハードルがある。SNSや Webに「〇月〇日申し込み開始です。申し 込み方法は、、、」と案内があったほうがよい。	内容	改善
16	深瀬	読者全員向けに	各サークル・団体の主催者が、 各サークル・団体がSNSやWebなどを整備する。	各サークル・団体の取り組みや、活動、交流 の様子などを、インターネットを通して発信し、 参加者を募るため。	ガイド以外？	
17	深瀬	読者全員向けに	『生涯学習ガイド』作成者が、『生涯学習ガイド』に 各サークル・団体が用意するSNSやWebのURLやQRコードを掲載する。	現代では、多くの人たちがインターネットを通し て情報収集するため。『生涯学習ガイド』に 「事業」以外にも、【サークル・団体情報】を掲 載しており、各施設の電話で問合せるかたち になっているが、SNSやWebなどで、直接団 体に連絡をとる手段や、参加するための案内 があったほうがよい。	内容	改善
18	深瀬	読者全員向けに	『生涯学習ガイド』作成者が、『生涯学習ガイド』に 「富士見市イベントカレンダー」のURLやQRコードを掲載する。 https://www.city.fujimi.saitama.jp/event/naiyo/calendar/li st_calendar.html	直近でどのようなイベントをやっているかを探せ るため。 たとえば、忙しい人でも、ふと時間ができて、 何かイベントに行きたいと思ったら、これで探せ るから。 ※「富士見市イベントカレンダー」は、どんどん 宣伝したほうがよいです。	内容	改善

19	深瀬	公共施設を訪れるひと向けに	「富士見市イベントカレンダー」や『生涯学習ガイド』（PDFファイル）のURLやQRコードを掲載したポスターを、公共の施設に掲示する。同様のチラシを配布する。	公共の施設を訪れるひとの目にとまってくれるかもしれないので。 ※「富士見市イベントカレンダー」は、どんどん宣伝したほうがいいです。	広報手段	拡大
20	深瀬	市民全員向けに	広報「富士見」の毎号、同じページの同じ箇所に「富士見市イベントカレンダー」のURLやQRコードを掲載してもらう。	広報なら、市民全員に届いているはずなので。 毎号同じところにしつこく掲載すれば、きっと気づいてもらえるはず。 ※「富士見市イベントカレンダー」は、どんどん宣伝したほうがいいです。	ガイド以外？	
21	深瀬	市民全員向けに	『生涯学習ガイド』（PDF）をWebページ化する。Webページから、前述の各団体のSNSやWebに飛べるようにする。※やや難易度高だが、やる価値はあるはず。	『生涯学習ガイド』（PDF）だとダウンロードしないといけないので。（ギガの消費を気にする人もいるかも） PDFファイルは、スマホからだと可読性や操作性に劣る。	公開方法	改善
22	深瀬	市民全員向けに	「富士見市イベントカレンダー」とは別に、民間や個人が実施するイベントも掲載できるWebサイトを整備する。※難易度高	狭山市では、「さやマルシェ」という、市公式ホームページとは別にウェブサイトがある。（前回、小栗さんが言及されていたサイトと思われる）。市の発信する行政情報とともに、民間情報として地域のイベント・サークル活動・子育て情報・お店・地域の話題などのポータルサイトとなっている。※「さやマルシェ」は「市民文化課」の担当と記載されているが、現在は「自治文化課」という名前に変更になっている模様。富士見市では「協働推進課」や「文化・スポーツ推進課」に相当。	ガイド以外？	
23	渡邊	富士見市への転入者・転入世帯	市役所での転入手続き時に「ウェルカムパッケージ」のひとつとして情報提供を行う。	転入者・転入世帯は、積極的に地域の情報を取捨選択している状態にあると考えられ、市・地域に飛び込む初期段階で情報を提供するのの効果的と考えられるため。	広報手段	拡大
24	渡邊	イベント参加者	地域イベントやフェスティバルでのブース設置・資料配布を行う。（すでに一部実施されていることではあります。）	イベント参加者は地域活動に関心が高く、情報を受け取りやすい属性と考えられるため。	広報手段	拡大

25	渡邊	地域のオンラインフォーラム(例：Facebookグループ)参加者	同フォーラム・グループで発信を行う。 その発信は、行政担当者からでもよいし、同フォーラム・グループの主宰者または同フォーラム・グループ内で影響力を発揮する人物からでもよい。	オンラインコミュニティは情報の拡散が早く、広範囲に届きうると考えられるため。 また、信頼されている人物・インフルエンサーからの情報は受け入れられやすいと考えられるため。	広報手段	拡大
26	渡邊	地元企業の従業員	地元企業と連携し、従業員向けのニュースレターや社内掲示板で情報を共有していただく。	企業内での情報共有は従業員に確実に届くと考えられるため。また、行政にとっても、地元企業は重要なステークホルダーであり、関係構築にも役立つと考えられるため。	広報手段	拡大
27	渡邊	医療機関利用者・訪問者	医療機関・施設内の掲示スペース・デジタルサイネージを利用させていただき、情報発信を行う。	利用者の多くは、施設内の同じ場所に比較的長時間にわたって留まらざるを得ないことが多く、スマートフォンを利用しがたい環境・状況下であれば、掲示物・配布物等に目を向ける・読み込む機会もあるのではないかと考えられるため。	広報手段	拡大
28	渡邊	子育て世代	保育園や幼稚園、小学校での配布物やPTAを通じた情報共有	子育て中の親は学校関連の情報を重視するため、学校を通じた情報提供が有効と考えられるため。(学校関係者の負担にならないよう配慮することが肝要)	広報手段	拡大
29	八木橋	通勤で鉄道を使う人	駅前ロータリーに横断幕(選挙や50周年事業の時のように)	いやでも目に付く	広報手段	拡大
30	八木橋	公民館など施設に来る人	垂れ幕、ポスター(入口ドアに貼るのが望ましい)	同上	広報手段	拡大
31	八木橋	広報誌を手にとる人	大きな活字で宣伝(お知らせ)もしくは1枚物を挟む		広報手段	拡大
32	内海	転入世帯	冊子を配付	各世帯のニーズに応じて参考にしてもらおう 富士見市のまちづくりをアピールする	広報手段	拡大
33	内海	子育て世代	学校のラックに冊子を配置したりポスターを掲示したりする	地域のよりどころとして情報発信に協力する 関心のある人にとっては情報に触れるチャンスになる	広報手段	拡大
34	本田	広報・HP・回覧等を見ていない人(アナログ)	・市の施設・掲示板、駅や店舗の掲示スペースで宣伝 ・掲載団体等に呼び掛けて生涯学習ガイドを紹介してもらう ・掲載団体等を集めた紹介イベントを行う	クチコミ(人伝い)か、紙媒体だが、どこに着地させるか?	広報手段	拡大
35	本田	広報・HP・回覧等を見ていない人(デジタル)	・掲載団体等に生涯学習ガイドについてSNS等での情報発信を依頼 ・PR大使等のインフルエンサーから拡散してもらう ・お金をかけて広告宣伝する	まず市HPの生涯学習ガイドへの誘導を目指す	広報手段	拡大
36	本田	情報は見るが生涯学習ガイドを知らない人(アナログ)	市からの発信情報に生涯学習ガイドへの導線を付ける	まず生涯学習ガイドへの誘導を促したいが、着地点は公共施設のガイド閲覧か?	広報手段	拡大

37	本田	情報は見るが生涯学習ガイドを知らない人（デジタル）	市からの発信情報に生涯学習ガイドへの導線を付ける （例：#生涯学習ガイド、リンクURL、QRコード）	まず市HPの生涯学習ガイドへの誘導を目指す	広報手段	拡大
38	本田	生涯学習ガイド見たが、興味ある情報がない人	・掲載情報を増やす（市が関与してない団体も、そのことを明示して掲載する） ・分類・整理の仕方を見直す＆検索性を高める ・ナビゲーターを配置する（そのことを周知する）	欲しい情報がない、あるけど見つけれない、の2つの要因が考えられるため	内容	改善
39	本田	生涯学習ガイドで興味あるものを見つけたが行動しない人	・各団体の紹介動画（自主作成、取材）、クチコミを生涯学習ガイドに載せる ・ナビゲーターが相談に乗る、団体との橋渡しをする	心理的ハードルをいかに下げるか、一歩踏み出す勇気を持たせるかがポイント	内容	改善

<今後の進め方>

1 各自宿題で講じるべき策を考えてくる（事前提出期限：8月26日（月））

2 事務局にて一覧にまとめて、次回9月3日の会議にて検討する

↳発表→質疑応答→統合・絞り込み を経て、どんな策を講じるべきか の案を決定する（1つとは限らないが、優先的な課題に絞る）

3 9月3日会議で決定した案の掘り下げと関連対策の検討（次々回会議までの課題、提出期限：次々回会議の1週間前目安）

↳決定した案の掘り下げ：各自でより詳細に具体的に検討してくる（5W3H いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように、どれぐらい、費用はどうする など）

↳関連対策の検討：その対策単独でよいか、効果を上げるために並行して必要な策について考えてくる

4 事務局にて一覧にまとめて、次々回会議にて検討する

↳9月3日に決定した案の掘り下げの検討・整理：発表→質疑応答→統合・整理

↳関連対策の検討・整理：発表→質疑応答→統合・絞り込み・整理